

席次のルール

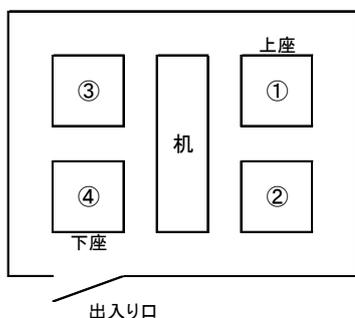
学校に来客があった場合、応接室のどの席に案内するかには、一定のルールがあります。また、会議室の座席の設定、学校行事での来賓の席や国旗や校旗の掲示にもルールがありますので、覚えておくと良いと思います。

1 応接室の場合

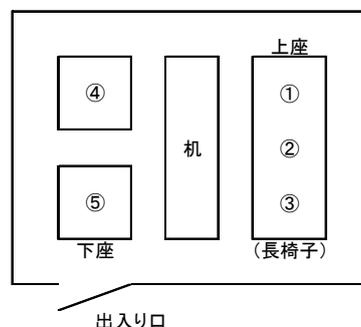
応接室では、出入り口から遠い所が^{かみざ}上座で、出入り口に近い席が^{しもざ}下座となりますので、来客は上座に、学校職員は下座に座って対応します。



(1) 一人掛け椅子のみの場合は、奥の席が上座となります。

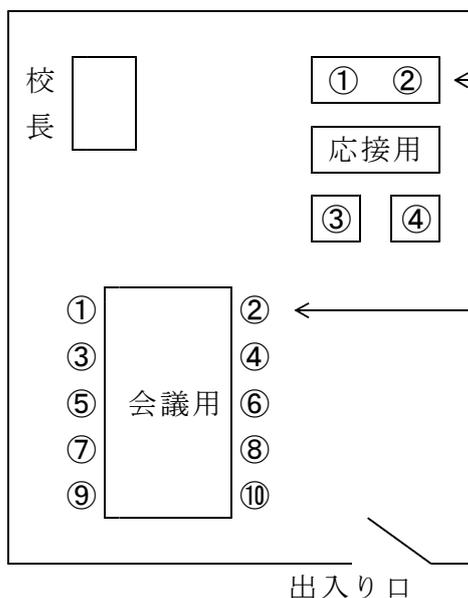


(2) 長椅子がある場合は、長椅子が上座となります。



2 校長室の場合

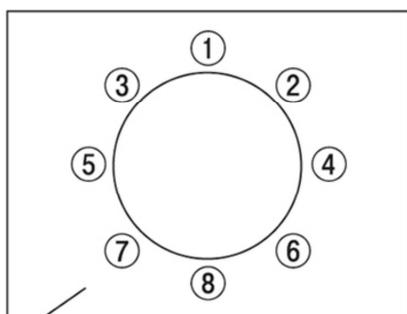
校長室は、来客用の応接コーナーと、会議用の大型テーブルを備えていることが多いので、それぞれの座席に順位制があります。



応接コーナーは、① ② が上座になるので、来客は ① ② に案内することになります。

会議用テーブルは、出入り口から遠い席が上座となり、交互に順が入れ替わります。多数の来客があった時や、校内で企画会議をする時等に使います。

3 円形の場合



出入口

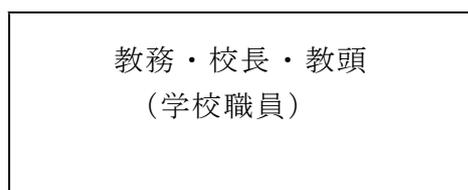
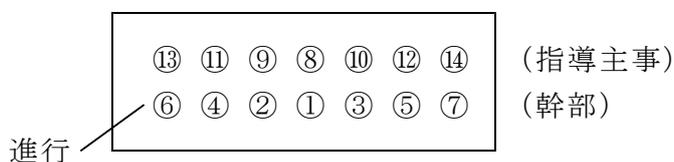
円形の場合も、出入口から遠い座席が上座となり、左右に順番が入れ替わります。出入口に近い座席が下座となります。

祝賀会や宴席での座席配置もこれに準じ、幹事は、出入口に近い⑧の席となります。

4 会議場の席次

教育委員会が授業や学校経営について視察に来る「学校訪問」という行事があります。市の教育長はじめ教育委員会の幹部や指導主事等が来校します。このときの全体会での座席配置にも席次のルールがあります。

ひな壇の前列中央が①教育長、その両隣りが②学校教育部長、③教育総務部長というふうに中央から左右交互に並びます。指導主事は幹部職員の後列に並びます。混乱しないように、あらかじめ名札プレートを置いておきます。



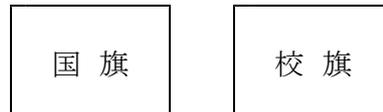
学校職員も、中央に校長をはじめとして教頭、教務主任等と続きます。

- 市教委のメンバーは、部屋に入ってくると、迷うことなく自分の席に着席し、それは見事なものです。実は部屋に入ってくる順番や、部屋を退出するのにも順番があり、また廊下を歩くのにも暗黙の順位制があるようです。さかのぼると、学校の玄関に入る時、出る時にも順位制があるという、不思議な世界です。

5 国旗・校旗の掲揚

(1) 入学式、卒業式等の儀礼的な行事には、国旗や校旗を掲揚しますが、旗の掲揚にもルールがあります。

国旗のみを掲揚する場合は、体育館ステージの中央に掲揚するので問題は無いのですが、国旗と校旗を併揚する場合には、向かって左側が上位になることから、左側に国旗、右側に校旗となります。



(2) 校旗を壇上に三脚で立てかける場合は、旗の向きはどうか？

これは、主賓に向かってこうべを垂れるという意味からすれば、入学式や卒業式の主賓は生徒です。入学してきた生徒、卒業していく生徒に向かって旗を傾けるのです。(来賓にではありません)

学校によっては、「校旗入場」といって生徒代表が校旗を壇上に設置する場合がありますが、このとき三脚の足の向きをあらかじめ固定しておかないと、設置したときにあらぬ方向を向いてしまうことがあるので、注意が必要です。



(3) 外国の訪問団を迎え、日本の国旗と外国の国旗を併揚する場合には、外国に敬意を表す意味で外国国旗を壁に向かって左側（上位席）に、日本国旗を右側に掲揚するのが一般的です。(国際儀礼)



👤 かつて外務省からの依頼で、外国の中学生が日本の中学校で学習を体験し、交流するという企画を受け入れたことがあります。両国の中学生と一緒に体育をしたり、習字をしたり、英語のスピーチをしたりと貴重な体験と国際交流をしました。

そのときの歓迎セレモニーで、両国の国旗を壁に併揚するときはどうするのか？というときになって、誰も考えたことがなかったので戸惑ったのですが、職員の中に、海外日本人学校の経験者がいて、このような交流行事は海外ではよくやっているということで、国旗の併揚やレセプションのメニューについてもよく知っていたので、その職員に企画をしてもらって無事終わることができたという記憶があります。